

運河から見た 運河の風景

View of the Canal from the Canal

発行：中川区役所地域力推進室 名古屋市中川区高畑一丁目 223 番地 TEL052-363-4322
協力：NPO 法人伊勢湾フォーラム

中川運河において、名古屋の「都心」と「みなとエリア」とを結ぶ水上交通「クルーズ名古屋」が運航されています。水上からしか眺められない名古屋の風景。運河の向こうに見える名古屋駅周辺のビル群や橋の下側、鏡のように反射する水面やロマンチックな夕焼けなどシャッターチャンスがいっぱいです！

2 岡谷鋼機(株)の倉庫群



岡谷鋼機(株)が創業350周年を機に、中川運河沿いの雰気づくりのために倉庫群を昭和初期の姿に再建。夜はライトアップもされ、人気の写真スポットになっています。小栗橋からの風景が定番ですが、船上から見た倉庫群の姿はまた格別ですよ！

4 パーミキュラ ビレッジ



愛知ドビー(株)の建物「パーミキュラ」ブランドをテーマにした施設が令和元年12月にオープン。パーミキュラ料理の美味しさを誰でも気軽に体験できる「ダイニングエリア」と、パーミキュラブランドの世界観を体感し深く知る「スタジオエリア」の2つのエリアで構成されています。いずれのエリアも中川運河を眺望できるスペースがあり、特に「ダイニングエリア」はオープンテラスで中川運河を目の前にして食事ができますよ。

5 珈琲元年 中川本店



対岸にある富士コーヒー(株)が平成28年にオープンした喫茶店で、清須市に1号店がありますが、この店舗を「本店」と位置付けました。運河側が全面ガラス張りになっていて、美しい風景を眺め、開放的な雰囲気を感じながら、香り高いコーヒーが楽しめます。春にはシバザクラが河岸を色鮮やかに染め上げ、船上からの景色は絶品です！中川運河クルーズ船で店の横を通ると、窓側のお客さんが手を振ってくれますよ。

7 橋に残る船舶用信号機跡



小栗橋、八熊橋、野立橋には、船舶が通るために点いていた信号の跡が残っています。上流側、下流側にそれぞれ2ランプがあったようで、昭和中期の船舶の往来が激しかった頃に橋の橋脚のどちら側を通るか間違えないように赤信号、青信号が左右で点いていたようです。これは船上からしか見ることができませんね。

10 (株)玉造のクレーン遺構



1 露橋水処理センター・広見憩いの杜



昭和8年に稼働を開始した露橋水処理センターは、平成15年より全面改築に着手し、平成30年度にリニューアルされました。新しい露橋水処理センターでは、これまで以上に水がきれいになる高度処理が行われています。処理された水の一部は、ささしまライブ24地区に送られ、地域冷暖房の熱源として利用し、せせらぎなどにも利用され、1日約3万m³の水が中川運河掘止部に放流されています。水処理施設の上部は、「広見憩いの杜」として芝生広場やミスト噴水などがあり、中川運河の風景を楽しみながらくつろげる空間として一般開放されています。この「広見憩いの杜」は令和元年度国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉グランプリを受賞しました！！

3 広川ポンプ所



広川ポンプ所は、名古屋駅周辺と露橋周辺の地域を大雨から守るために、雨水を中川運河に排水するポンプ所で、令和6年度の供用開始を目指して工事が進められています。完成後には、深さ地下65mととても深いポンプ所となり、その深さは名古屋城の天守閣がすっぽり入るほどの大きさとなります。名古屋駅周辺で集められた雨水は、地下約50mに造られる巨大なトンネルを通って運ばれてくるんですよ。

6 巨大レリーフ(市営清船荘)



篠原橋のすぐ南をクルーズ船で通ると、西側「市営清船荘」の壁面に「松重開門」を通過する船を描いた巨大レリーフを見ることができます。このレリーフのように、松重開門は昭和43年まで中川運河と堀川を繋ぎ、船舶が往来していました。

8 9 10 モノづくり産業ゾーンの工場群

長良橋から南方の中川運河沿いは、「モノづくり産業ゾーン」と位置付けられるように、たくさんの工場、倉庫が立ち並んでいます。その中には運河に突き出したクレーンや運河側に作られた大きな扉が残る工場や倉庫もあり、船による水運が活発だった運河の歴史と、昭和のノスタルジックな雰囲気を体感することができます。

8 三重鋼材(株)の倉庫群



9 (株)シバタのカマボコ型二連倉庫



運河橋

猿子橋

小栗橋

長良橋

八熊橋

篠原橋

野立橋

中野橋

蜷橋

昭和橋